

看護必要度 過去・現在・未来へ

当院は救命救急センターを有することで7:1入院基本料の要件の1つである「重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者が全体の15%以上いること」という算定要件は免除されていた。しかし、今回の改定でこの免除が削除された。また重症度、医療・看護必要度のA項目(モニタリング得点)が見直され変更された。看護部では重症度、医療・看護必要度15%以上をキープするため動き出した。まず、改定後の重症度、医療・看護必要度で評価してみると15%に達しておらず、その原因がどこにあるのか見直した。その結果、正しい判断・記載ができていないなどの看護部で取り組むべき課題と他部門の協力なくしては解決できない課題が見つかった。中でも薬剤部・医師・システム室の協力は必須であり以下にその概要を示す。

□薬剤部：A項目の専門的治療に係る当院使用の薬剤一覧表の作成を依頼。ワークシートに印字される対象薬剤名の前に「専」と表示し、看護師が共有できるようにした。

□医局：重症度、医療・看護必要度の評価の前提として医師の指示・協力が必要なことについて看護部でピックアップし、看護部長より診療部長会で説明し、医師の協力を依頼。その結果、医師自ら指示を入力しやすい方法の検討・実施へと繋がった。

□システム室：医師の指示システムや看護師の記録の負担を軽減できる記録システムの変更・改善。

◇看護部の取り組み：改定後の重症度、医療・看護必要度で正しく評価できるように研修を実施。同時に看護必要度記録のシステム変更・改善を検討。取り組みの概要は[2014年7月]改定後の重症度、医療・看護必要度で評価を開始。この時点では紙媒体に一旦記録したものを翌日入力した。[9月]看護必要度研修を終えたメンバーで看護必要度ワーキンググループを立ち上げ、看護師の負担を最小限にしながら正しく記録・評価できるシステムとマニュアル作りに取り掛かる。[12月]マニュアル完成。[2015年1月]紙媒体をなくし、当日直接、看護必要度管理システムION2に入力するようになり現在に至っている。

前記以外にも診療録管理室・医事課等多くの部署の協力を得て、現在重症度、医療・看護必要度は15%以上を維持している。これからは監査機能の充実をはかり、誰が読んでも自分たちの看護が正しく評価される看護記録の充実に力を入れていきたい。

【6階東病棟師長 杉 敏子・N1病棟師長 小幡 陽子】



TOPICS

医療安全取組(QC活動)成果発表会

1月22日(木)、医療安全取組(QC活動)成果発表会が開催されました。

【記念2病棟 坂田 浩美】

今年で「第11回医療安全取組(QC活動)宣言大会」となりました。毎年、どのようなテーマで取り組んで行こうかとディスカッションを繰り返してきました。今回、介護士から「患者さんの口腔ケアに問題がある、いくら綺麗にしても綺麗にならない」と声があがり、これをテーマにしました。

当病棟は、寝たきりの患者さんが多く、日々状態が変化の中で看護師と相談しながら患者に合わせた必要なケアを行っていますが、スタッフ同士の統一が取れず、大きく差がありました。まず、客観的に現状を知るために口腔内の細菌検査を行い、かなり汚れていることを知りました。口腔ケアの大切さをより深く感じました。歯科衛生士の指導を受け口の開き方・歯磨きの方法・うがい口ののリハビリに繋がることも学びました。ケアを通じて患者さんとのコミュニケーションが密になったことと、スタッフ間の情報交換とケアに対する意志の統一が図れた事が良かったです。

これからもケアに力を入れ、日々患者さんの清潔に努めて行きます。



看護研究発表会

2月5日(木)、看護研究発表会が開催されました。

今回は、9部署22名が昨年7月より看護研究に取り組みその成果を発表いたしました。約7ヶ月間にわたり、きめ細やかに



暖かくご指導頂きました。岡山大学大学院 教授 秋元 典子氏より講評をいただきました。

最後に、研究者を代表して看護学校教員土井 美子さんから、「先生に温かくご指導いただき発表を終えることができました。私達は結論で述べたことをそのままにしないという責任を新たに負っています。今後も、学会への挑戦や追跡調査など、研鑽を積みみたいと思います。」とのお礼の挨拶がありました。

看護研究での学びを看護実践には是非活かしていただきたいと思います。

【看護部長 安藤 佐記子】



平成26年度 慈風会 忘年会



平成26年度、慈風会全体での忘年会が開催されました。参加者過去最多749名での忘年会は、例年の時間を1時間延長しての盛り上がりでした。

病院開設60周年を迎え職員数も増加し、施設規模も拡大していく中、職員の結束を図り、新しい年が慈風会にとって更なる飛躍の年となることを願いながら「蛍の光」を合唱し閉会となりました。

今年度の表彰者は以下の方々です。おめでとうございます。

【勤続25年表彰】

3階東病棟 竹内 和枝
N2病棟 井伊 美鈴
手術室 山本 仁美



【勤続10年表彰】

5階東病棟 二村 典子
5階西病棟 大原 真理子
野上 京子 福井 明子
6階東病棟 杉 敏子
N3病棟 中井 和子
救命救急病棟 牧田 真由美
手術室 池田 愉政

【日本看護協会会長表彰】 看護統括部 安藤 佐記子

【岡山県看護協会会長表彰】 救命救急病棟 竹本 真由美

【平成25年度 美作保健所 地域医療事業功労】

6階東病棟 杉 敏子 N1病棟 小幡 陽子

【平成26年度 美作保健所 地域医療事業功労】

5階東病棟 中村 伊代子 看護学校 森本 和子

救命救急病棟 前田 洋子

記念病院透析 明石 直子

12月10日(水)

鶴山ホテルにて開催

毎年恒例の師長会演芸。今年は、セーラー服に、膝上10cm以上のミニスカートで妖怪体操の曲にのせ「熟女体操」を披露。演芸にかける情熱と練習に練習を重ねた熟女体操の効果でスリムになったと思いませんか？！



看護部自治会親睦旅行

11月15日(土)、看護部自治会主催の親睦旅行に参加させて頂きました。中野うどん学校で、私は職人張りの前掛けをして、フォーチュンクッキーを踊りながら足コネをしました。また、麺棒を使い生地を伸ばし手打ち体験もしました。生地を均等に伸ばし、切るのは難しく、うちの主任さんの切ったうどんは、箸にも棒にもかかりませんが、師長はポスター撮りの如く、箸にかかりました。私は無理やりかけ、仕上がりを繕いました。でも茹でる時はみんな同じ釜なので大丈夫！??しかし、中野うどんの新名物「食感いろいろ麺定食」を好き嫌い問わず、食べさせられる運命となりました。空腹が運良く、美味しいうどんを食べた後は、金毘羅さんへ参拝に行きました。ご本宮まで785段の石段を格さん 助さん役を努め命がけの水戸黄門(師長)を先導し登りきり、記念写真を見ず知らずの方がバチリ！金毘羅産カラスに木立の上から「かっかっかっ」と笑われながら下山できました。

楽しい一日を、自治会役員の方々、お休みを下さったスタッフにお礼を申し上げます。

【4階西病棟

竹久 千恵】



未就業者復職支援セミナー



2月3日(火)、未就業者復職支援セミナーを開催しました。5名の受講生を迎え9時~16時30分まで行いました。午前、薬剤の知識、医療事故防止・感染防止について行い、午後は、

採血・心電図・排泄・吸引について行いました。採血では針さし事故防止の針を使用しモデルを使って行いました。受講生は使用したことがないため興味深く実習していました。心電図では、モデル人形を使い、指導のもと12誘導を撮り、正しく撮れた時は歓声があがっていました。排泄では、モデルを使い患者の気持ちになってケアすることの大切さを伝え、受講生は真剣に聞いていました。吸引では、気管内及び気管切開部より安全な吸引方法についての説明を聞き興味深く質問をしていました。

セミナーを開催することで、一人でも多くの看護職が復職できることを願っています。

【4階西病棟師長 坂出 孝子】

